

## 第2回みやぎ観光振興会議石巻圏域会議 委員発言要旨

### 石巻商工会議所 青木八州会頭

- 当面、家族単位の旅行になるが、さらに細分化して、時間などにゆとりのある子育てが終わった世代をターゲットにすると良い。
- 車のない人や、遠方から新幹線で来ると二次交通が必要。オプションツアーで鮎川など地域を巡って観光してもらおう。
- また、オプションツアーには、スキューバダイビングのライセンス取得や潜水プログラムなど、いろいろなコースがあっても良い。
- 金華山参りで金持ちになれることを関西でPRすれば、格安航空もあり観光客が見込める。仙台空港からこの地域へのバスを整備できないか。
- 本会議のメンバーに旅行業者がいると採算性などの意見をもらえ良いと思う。

### バリュー・ザ・ホテル東松島矢本 阿部聡儀支配人

- ここ1か月で、修学旅行や教育旅行がどんどん企画され始めた。
- インバウンドについては、来年の旧正月あたりからどうかと話がでている。
- GOTキャンペーン中に、その期間後の仕掛け、新規客かリピーターか、又は、個人か団体をターゲットにするのかなどを、地域で検討しなくてはならない。
- 前回、食をテーマにとあったが、食材にはシーズンがあり提供できない時期もあるので、対応できる仕組みを検討する。

### 県タクシー協会 池田憲彦会長

- 観光と体験、食を組み合わせたオプションツアーを沢山つくり、選択の幅を広げる。
- 旅行者など地元以外の方の意見を聞くべき。石巻地域は素晴らしいという方は多い。
- 若柳出身の有名な脚本家に、地域の魅力再発見などの良い提案をしてもらおう。

### みやぎおかみ会 遠藤和子幹事

- 第一線で活躍する方は、年齢が高い。
- 起業を目指す人、終息後、起業家に、オプションツアー
- 新型コロナウイルスを避けるためのワーケーションの場所として牡鹿半島は向いている。

### 石巻料理店組合 大森信治郎組合長

- 適疎の表現を工夫し、観光客へ訴求していく。疎は蜜との対比なので、松島などの蜜から疎へなど訴え足を延ばしてもらおう。
- 誰に訴求するかといえば、仙台圏、東京圏のほか、格安航空もあり大阪も面白い。
- 以前、食をテーマに大阪からのモニターツアー行った際の評価は非常に高かった。
- 島を観光資源と考えると、石巻地域での航路の乗り継ぎ移動できる仕組みも面白い。この地域は、三陸復興国立公園の南の入口になる。来年、出島の橋が完成することもあり注目が集まる。

**東松島市観光物産協会 菊田良光会長**

- 東松島市では月曜日から金曜日まで、デマンド交通としてタクシーを6台利用している。登録や予約、コースなども大体決まっており、観光への活用は難しい。
- 別な方法となれば主要駅からタクシーを使った周遊観光になる。先日、新聞に三陸鉄道と観光タクシー（31コース）のセットが定額で利用できるプランが掲載されていた。行政にバックアップしてもらい、いらっしゃったお客様にしっかり足を確保しなければならない。
- 体験型の魚釣りとか、シーカヤック、パークゴルフ、パラグライダーなど、密にならない屋外での活動と、2次交通を組み合わせたいと思う。

**(株)街づくりまんぼう 木村仁代表取締役専務執行役員**

- 情報発信が大切である。既に素晴らしい観光素材があると思うし、それぞれの分野でいろいろ頑張っている。旅行者への届け方が課題である。
- GOTキャンペーンで、専属で人を雇って、SNSを発信するとか、何かあればリアルタイムで対応するコンシェルジェがいれば良いと思う。

**(株)ミヤコーバス石巻営業所 後藤正基所長**

- 新型コロナウイルスの影響で、はとバスなどは動いていなかった。観光地に観光客が来るようになったが、ほとんど自家用車になっている。
- 離島航路は良いと思うので何らかのPRをすべき。
- バス等の活用について、今走っているのは乗合バスが中心で、時間やルートが観光に適さない。デマンド交通にしても通勤通学など地域の足であり、改善するか、別なもとして扱うかだ。
- 自家用車利用が増える中、道路の整備が必要である。また、一方通行が多く分かりづらく、また行きたいとは考えない。
- バスとタクシーを組み合わせた複数のルートの策定も良い。金華山？
- 観光客が新型コロナウイルスで構えている。3密にならないようにし、来ても大丈夫という環境づくりが必要と思う。

**鮎川まちづくり協会 齋藤富嗣代表理事**

- 観光の素材は沢山あるが、それを生かす連携ができていない。二次交通や観光の見せ方など議論していかないと、理想論で終わり、実現するまでに時間がかかってしまう。
- 金華山をお参りすると金持ちになれ、ほかの島々にも歴史があり、全部回ると大金持ちになれるなど、本気で話し合いをしないと、いつも、だったらいいなで終わる気がする。
- 数日掛けて周遊してもらおうエリアになるよう地域のつながりを検討する仕組みも必要。

**石巻専修大学 庄子真岐教授**

- 今、適疎が求められており、石巻とは親和性があると思う。ただ、適疎だと思って来たらそうではなかったとならないよう、適疎の定義を議論する必要がある。
- 適疎に取り組み、客単価も上げ、ビジネスモデルが成立つよう石巻をブランド化していければと思う。

**リポーンアート・フェスティバル実行委員会 松村豪太事務局長**

- 先に、外部の視点を取り入れるとか、オプション的な体験コンテンツなどの意見がありましたが、仕事柄、移住や交流などに関する事業をしており、関われると思った。
- ボランティアから移住した方や、Uターンした方など、優れたコンテンツを持っているが、得てして組織と組みたがらないので、こちらから繋がりに行く必要がある。
- オンラインによるコンテンツの作成は簡単であるが、採算をとるのは難しい。地域の魅力発信などPR的な要素が高いので、公的な支援があると良い。
- ワーケーションについてもインターネット設備があれば比較的容易にできる。民宿や学校の空きスペースを利用し、さらに、自然を楽しめる。来年、オリンピック開催中に、企業の皆さんを事務所ごと、宿泊施設などへの誘致を、このタイミングで取り組んではどうか。

**貴凜庁（株） 三井紀代子社長**

- 先ほど、地元以外の外部の視点を入れるとあったが、私は他県から、全く宮城を知らずに来て、今、ここで仕事をしているが、宮城は自然が、観光地が素晴らしいと思う。
- 皆さんの素晴らしいアイデアやご意見を、シンプルに整理して、情報として届けると良い。

**女川町観光協会 持田耕明副会長**

- この地域はみちのく潮風トレイルなど、恵まれた場所である。また、地元の人しか行かないような景観が素晴らしい場所など情報発信していきたい。GoToキャンペーンで観光客が増える中、女川町は選ばれる町だと思う。
- 東日本大震災により人口 6300 人となり、人員的に不足を感じる。コンテンツも大事だが、最終的にはサービス、おもてなしをする人も大事だと思う。

**石巻観光協会 後藤宗徳会長**

- 「適疎」を良い言葉に置き換え利用する。
- オプションツアーはあるべき。
- 評論家は多いが、プレーヤーに育ってほしい。
- 先の講義資料によると、他県は行っているが宮城県が行っていない対策がある。県にスピード感を持って取り組んでほしい。
- オンラインコンテンツで、食材のほかタクシー券を送るなど地域を観光してもらおう仕組みはどうか。